

平成21年度第2回関東地域飼料増産及びエコフィード推進
合同行動等会議開催要領

1. 趣 旨

- (1) 最近の畜産をめぐる情勢はめまぐるしく変化しており、特に、平成18年の秋以降の配合飼料価格の高騰は、現在も我が国の畜産の安定経営に重大な影響を及ぼしている。また、穀物の供給不安や食の安全・安心に対する懸念から、国民の食に関する関心が高まっている。
- (2) こうした中、国際的な穀物市況の動向に左右されない安定した畜産経営を実現し、安定的に畜産物を供給していくためには、青刈りとうもろこしや水田における飼料用稲等飼料作物の増産、耕作放棄地を活用した放牧の推進、エコフィードの生産利用拡大などにより飼料自給率の向上を図りつつ、家畜生産性の向上を普及・推進することが重要となっている。
- (3) このため、関東地域では、「関東地域飼料増産行動会議」及び「関東地域エコフィード推進行動会議」(以下「合同行動等会議」という。)を設置し、飼料自給率の向上を図るため関係者一体となった取組を推進しているところである。
- (4) ついては、次のとおり本年度策定した21年度行動計画に基づく取組状況の点検・検証等を行うものとする。

2. 開催日時

平成22年2月26日(金) 13:30~17:30

3. 開催場所

さいたま市中央区新都心2-1

さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 大研修室5A

4. 参集範囲

(1) 行政機関及び独立行政法人

管内都県(畜産主務課(室)、農産主務課、普及主務課、食品主務課等)、
農林水産省(消費・安全局、生産局畜産部)、
(独)農業・食品産業技術総合研究機構(畜産草地研究所等)、
(独)家畜改良センター、(独)農林水産消費安全技術センター

(2) 事業者団体

都県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会県本部、
県酪農業協同組合連合会等関係団体、県食品産業関連協議会、
全国農業協同組合連合会、全国酪農業協同組合連合会東京支所、
全国開拓農業協同組合連合会関東支所、全国畜産農業協同組合連合会東京支所、
全国肉牛事業協同組合、関東農林水産関連企業環境対策協議会

(3) 公益法人等

(社)県畜産(協)会、都県草地協会、(財)食品産業センター 等

(4) 消費者団体

主婦連合会

5. 議 題

- (1) 関東地域飼料増産行動会議 (13:40～15:20 100分)
① 平成21年度行動計画に基づく取組状況等について
② 意見交換
- (2) 関東地域エコフィード推進行動会議 (15:30～16:40 70分)
① 講演
「エコフィードを活用したTMR製造利用マニュアルについて」
新潟大学 客員教授 今井 明夫 氏
- ② 議題
ア 平成21年度行動計画に基づく取組状況等について
イ 意見交換
- (3) 家畜生産性向上・普及推進 (16:50～17:20 30分)
① 平成21年度の取組状況について
② 意見交換
- (4) その他 (17:20～17:30 10分)

6. 主 催

(社)日本草地畜産種子協会、(社)配合飼料供給安定機構、関東農政局

平成21年度第2回関東地域飼料増産及びエコフィード推進合同行動等会議の傍聴について

締切り:平成22年2月12日(金)

FAX:048-601-0510

関東農政局生産経営流通部

畜産課自給飼料係 入江 あて

所 属:

氏 名:

所 属	役 職	氏 名	合同行動会議		
			飼 料 増 産	エコフィー ド	家 畜 生 産 性 向 上

* :傍聴を予定される会議の欄に「○」をつけてください。

* :定員(20名)に達した場合は参加していただけない場合もございます。御了承願います。

* :上記の個人情報は、平成21年度第2回関東地域飼料増産及びエコフィード推進合同行動等会議の傍聴参加者の確認のみに利用し、それ以外のことには利用しません。